




●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。 ※  内はロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は製品重量が最大30kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 本製品は、ガラスブロックを使用するため、かなりの重量がかかります。枠の垂下がり・障子脱落防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、「防水テープ 取扱い説明書」を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・下枠の底面の溝（水抜き穴）は、絶対にシーリングで埋めないでください。又、外壁仕上げ面は、釘打ちフィンより52mm以下になるように取付けてください。
 - ・シーリング処理は、バックアップ材（別途）・マスキングテープ（別途）を用いて、室内外共にすき間・切れ目などのないように行ってください。
 - ・シーリング処理後にサッシを動かす場合は、シーリングが完全に乾いてから行ってください。
 - ・下枠端部にゴミがたまっていないことを確認してください。

■取付け上のお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。

■ねじ一覧表

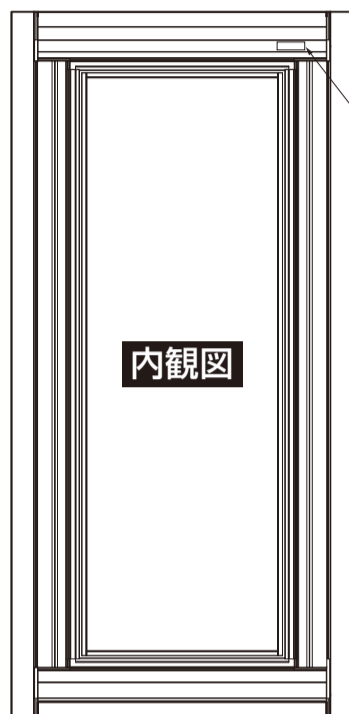
㊦	㊧	㊨
		
皿タップピンねじφ4×35	ナベセルフタップピン ねじφ4×10	丸木ねじφ3.5×25

■取付け順序

1 枠の仮止め

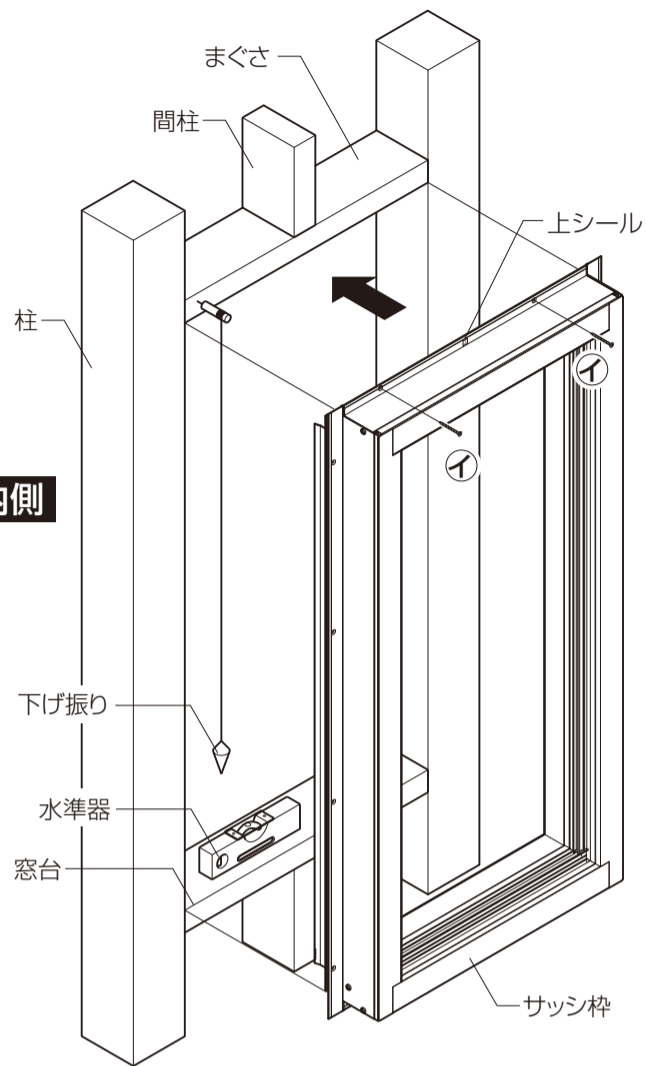
- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
- ※「上」表示がある部材が上となります。
- ※必ず枠の対角寸法を合わせてください。
(必ずかい物を入れて固定してください。)

■姿図



ロットNo.表示位置
ブランドラベル

室内側



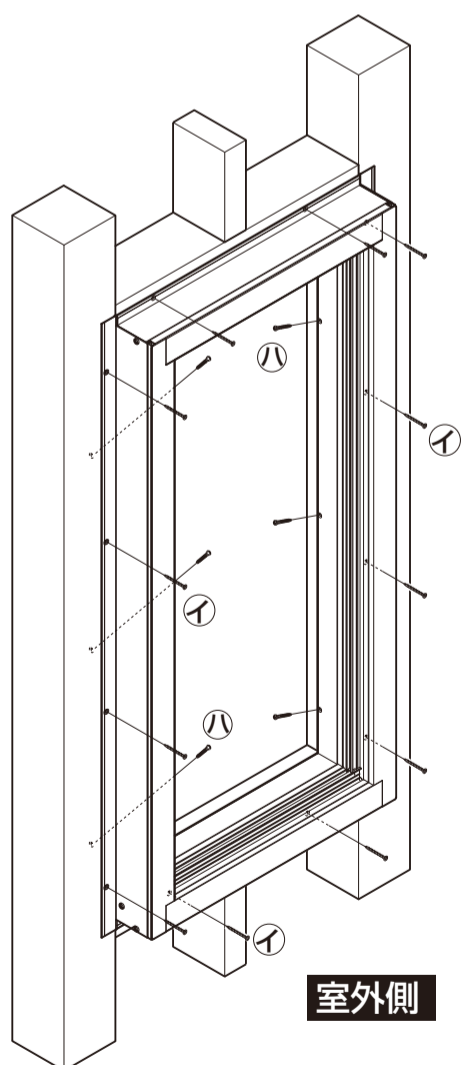
室外側

▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。正確に出して取付けていない場合、ガラスブロックの目地幅がずれる場合があります。

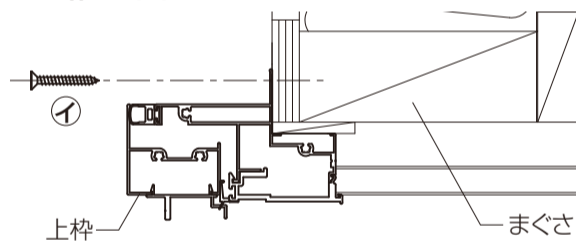
2 枠の本固定

- 枠を開口部に差込み、躯体に本固定します。



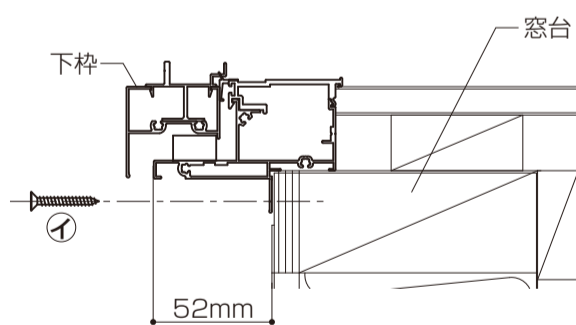
■取付け詳細図

●縦断面図



室外側

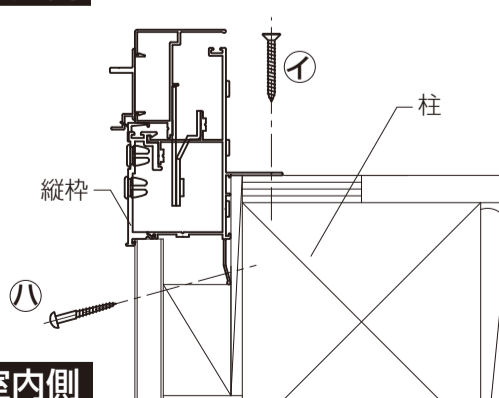
室内側



●横断面図

室外側

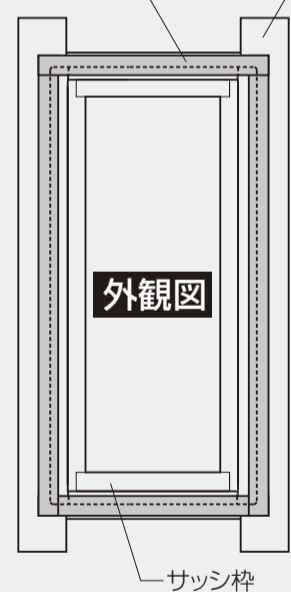
室内側



▲注意

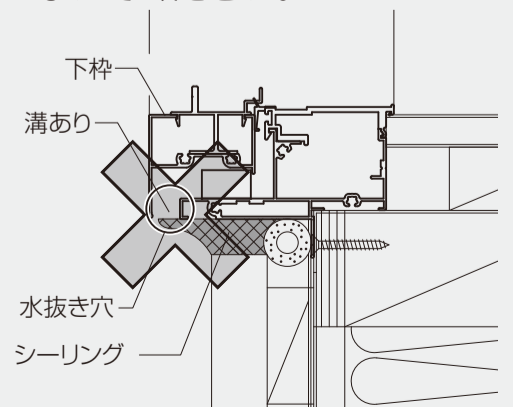
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

防水テープ 躯体



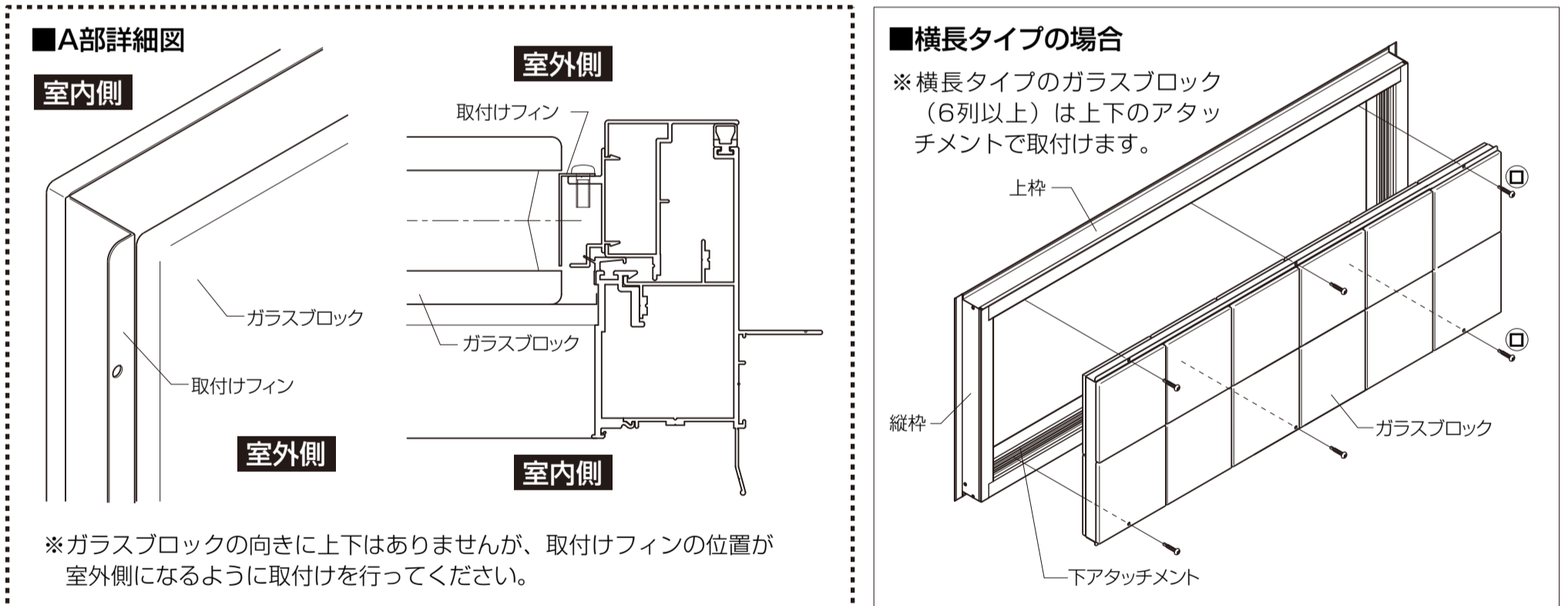
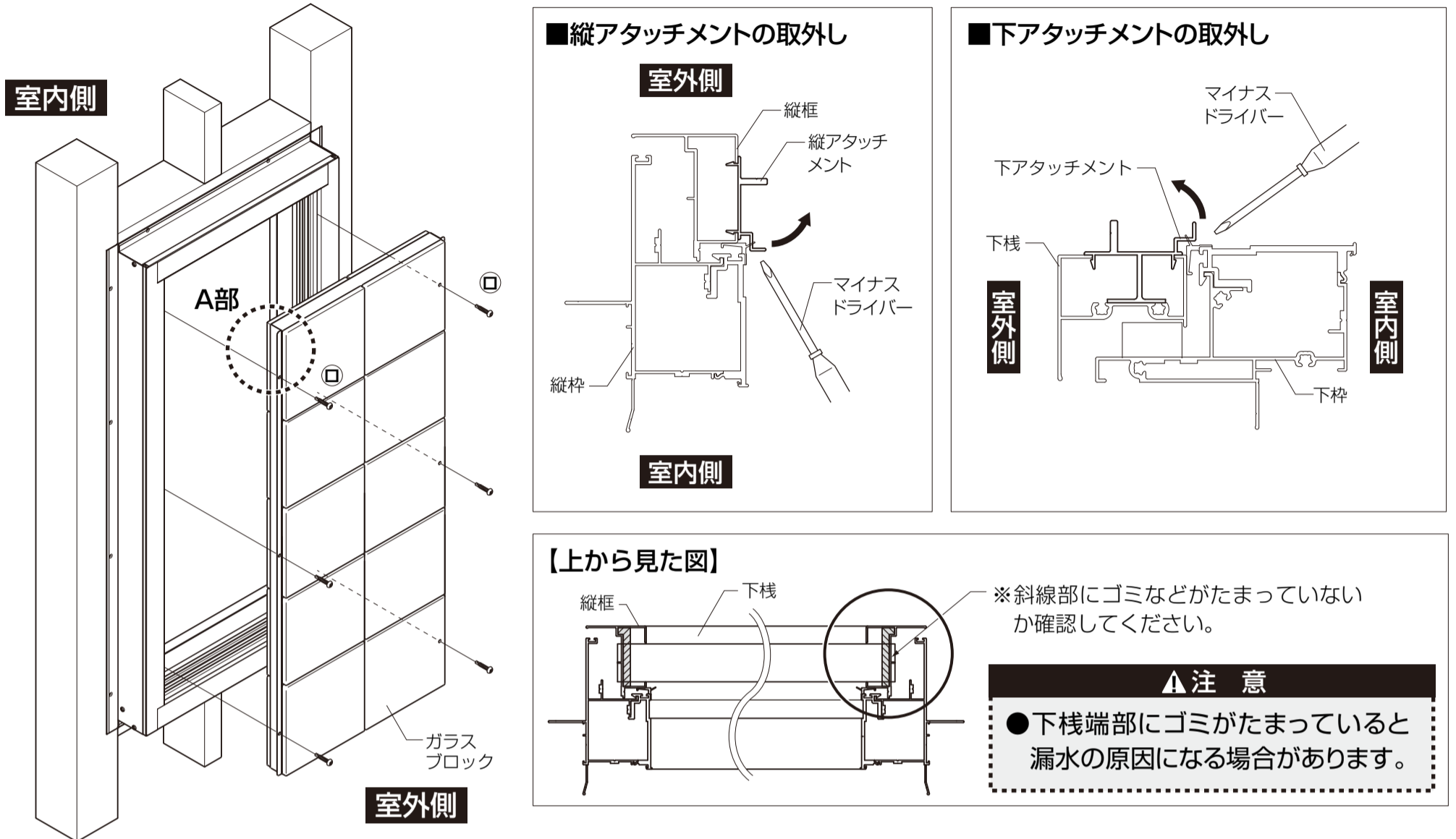
▲注意

- 下枠の底面の溝(水抜き穴)は、絶対にシーリングで埋めないでください。



3 ガラスブロックの取付け

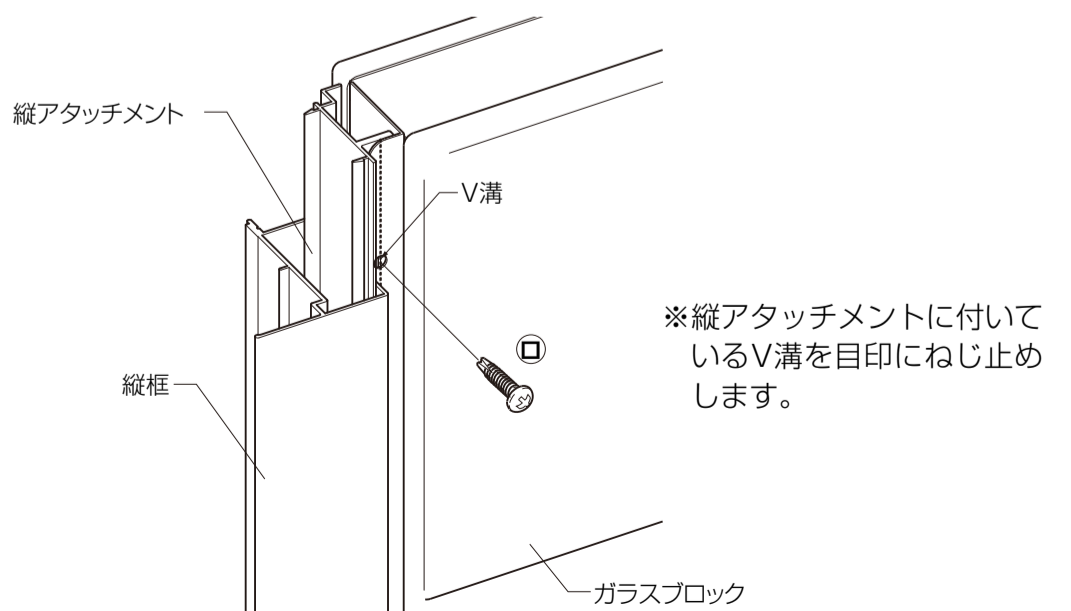
- ①下図のように縦アタッチメント・下アタッチメントを外し、下枠端部の水抜き穴にゴミなどがたまっていないことを確認し、再度、下アタッチメント・縦アタッチメントの順で型材をはめ込みます。
- ②ガラスブロックを、組立てた障子の室外側よりはめ込み、ねじ止めします。



- ③ガラスブロックが下アタッチメントにあるセッティングブロックにのっていることを必ず確認してから、ガラスブロックと縦アタッチメントをねじ止めしてください。

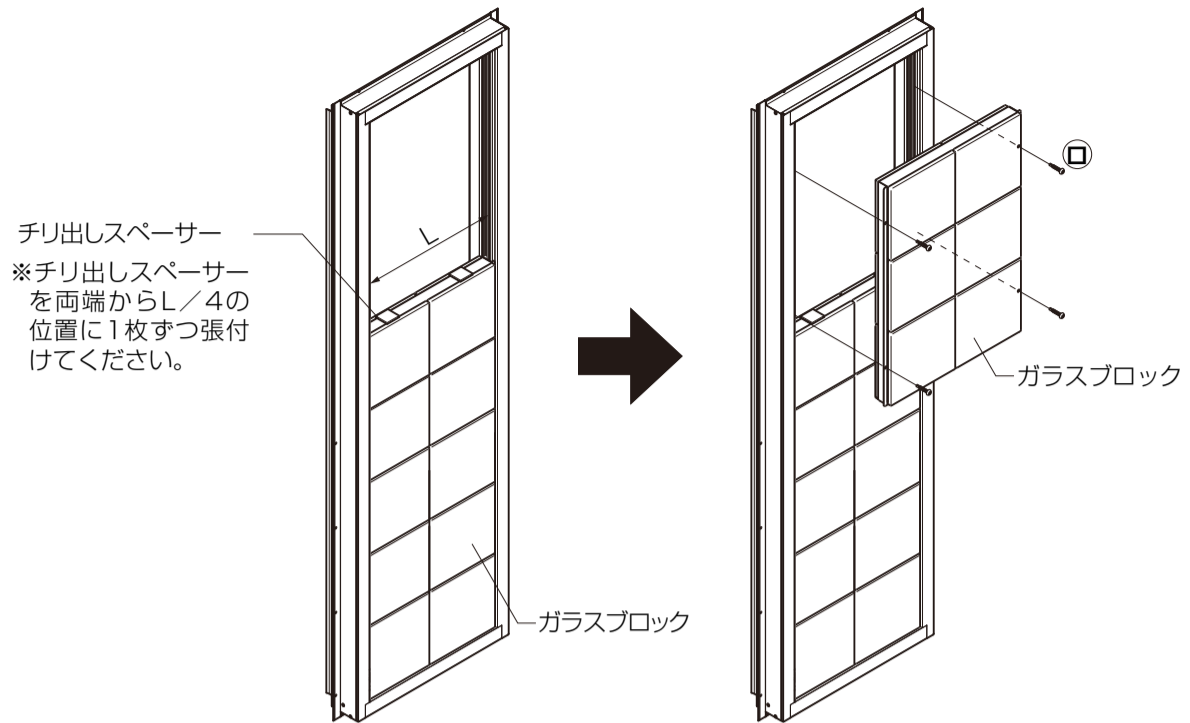
お願い

※枠に障子を建込んでからガラスブロックを取付けてください。先に障子にガラスブロックを取付けてしまうと枠に建込めなくなります。



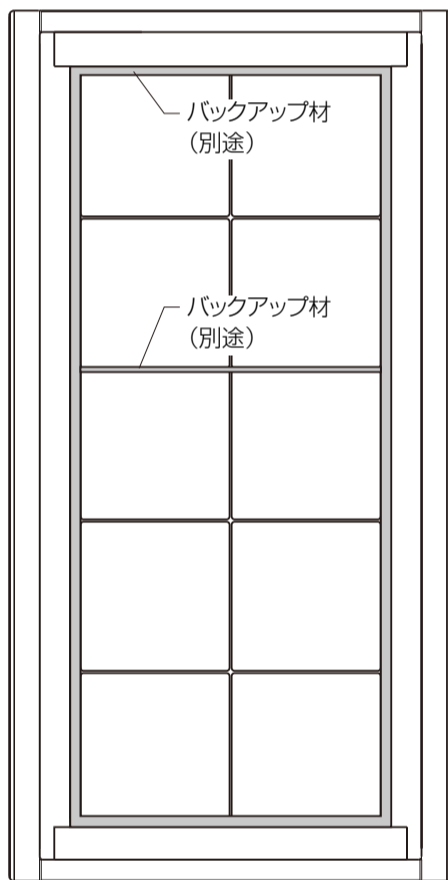
■テラスタイプなどの場合

※テラスタイプなどのガラスブロックを重ねて取付ける場合、ガラスブロックに同梱されているチリ出しスペーサーを張付けて、チリを統一してから取付けを行ってください。



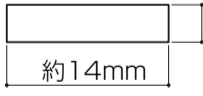
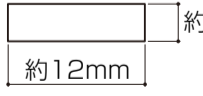
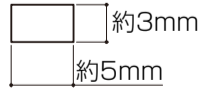
4 ガラスブロックのシーリング

- ①室内外共に、ガラスブロック周りおよび、ガラスブロック重ね部にバックアップ材（別途）を挿入します。
- ②マス킹テープを張り、室内外共にシーリング（別途）を施します。



※バックアップ材（別途）を入れる際、コーナー部など、すき間のないようにしてください。
 ※バックアップ材（別途）は、下記のようなものを使用してください。

■バックアップ材の種類

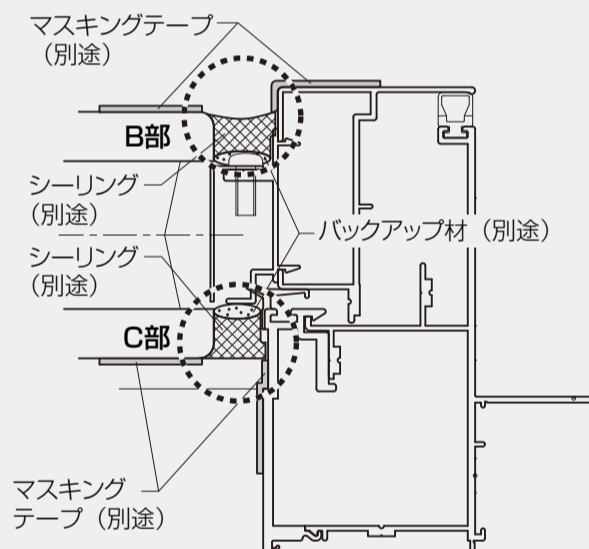
周り (室外側)		約3mm 約14mm
周り (室内側)		約3mm 約12mm
ガラスブロックの ジョイント部		約3mm 約5mm

※コーキング材はシリコン系オキシム型のコーキング材を使用してください。

▲注意

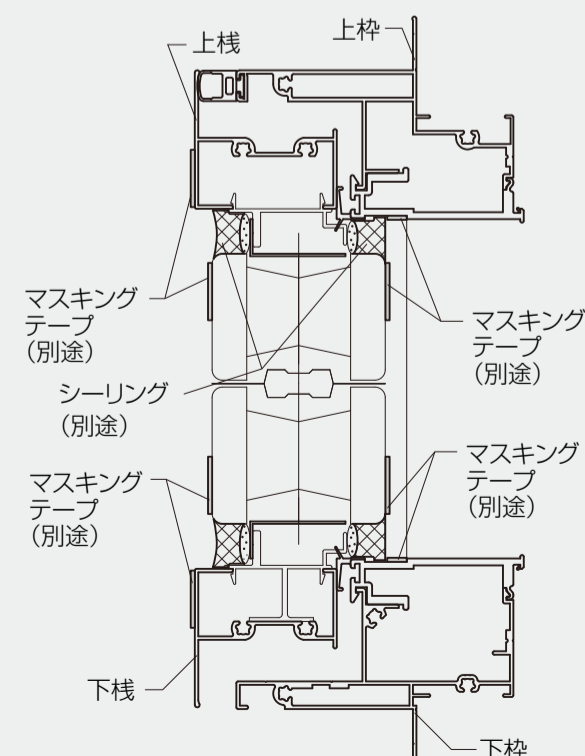
- シーリング処理は、バックアップ材（別途）・マス킹テープ（別途）を用いて、室内外共にすき間・切れ目などのないように行ってください。
- シーリング処理後にサッシを動かす場合は、シーリングが完全に乾いてから行ってください。

■縦方向シーリング要領

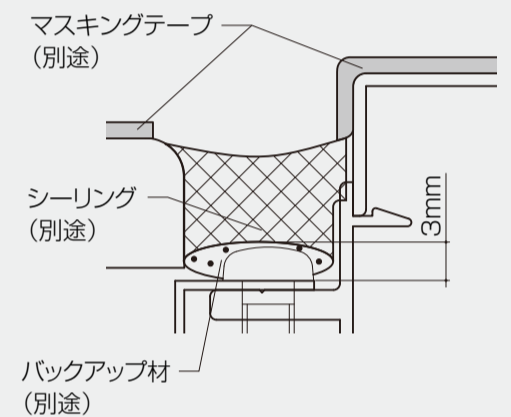


※B部、C部はアタッチメントが見えないようにシーリングを行ってください。

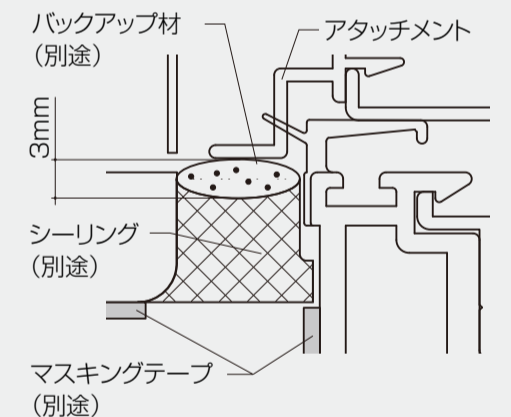
■横方向シーリング要領



■B部詳細図



■C部詳細図



■ガラスブロックジョイント部

